



光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中 ～人と人のつながりがたからもの～

第12号【令和7年11月4日】 生駒市立光明中学校 校長 斉藤 稔

合唱コンクール

たけまるホールいっぱいに広がった歌声は、単なる音楽ではありませんでした。それは、生徒一人ひとりの思いが重なり合い、心を通わせた証そのものでした。

10月28日（火）、光明中学校の合唱コンクールを開催しました。澄み渡る秋空のもと、当日の会場は、まるでコンサートホールのような熱気に包まれ、生徒たちの気持ちも最高潮に達していました。全校合唱として披露された校歌と「Joyful」は、大ホールの空気を震わせ、地響きのような力強さで観客の胸に突き刺さるような感覚をもたらしました。その瞬間、音楽は単なる音の連なりではなく、目に見えない「心のかたち」として私たちの内側に深く届いたのです。

続く学年合唱、学級合唱では、時にダイナミックに、時に繊細に、美しいメロディーが紡がれていきました。学級合唱の曲は、各クラスが自ら選んだものであり、歌詞に込められた意味に耳を傾けると、生徒たちの心の叫びが聞こえてくるようでした。仲間とともに選び、練習を重ねたその歌には、クラスの個性と想いが確かに宿っていました。

特に3年生の歌声には、これまでの学校生活の思い出、仲間への感謝、そして未来への希望が込められており、聴く者の心を揺さぶる力がありました。その姿は、1，2年生にとっても大きな刺激となり、来年への意欲を高めるきっかけとなったことでしょう。

生徒たちの振り返りの感想文には、「やり遂げた達成感」「仲間と心を通わせた喜び」「歌うことの楽しさ」など、充実した思いが溢れていました。どのクラスも、放課後の時間を惜しまず練習に励み、時には先生からの激励を受けながら、時には生徒同士で意見をぶつけ合いながら、ひとつの音楽を創り上げてきました。歌詞の意味を深く考え、声を合わせることの難しさと喜びを知り、やがてその歌は、聴く人の心を震わせるほどの力を持つようになったのです。審査結果以上に、どのクラスもかけがえのない経験を得たことが、何よりの成果です。音楽を通して、互いを認め合い、支え合う姿勢が育まれたことと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。合唱コンクールをご参観いただき、ありがとうございました。生徒たちの歌声が、皆様の心にも届いていたなら、これ以上の喜びはありません。今後とも、生徒たちの歩みを温かく見守っていただければ幸いです。ありがとうございました。